

同友ぐんま

第381号

2013年

11月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

経営者と社員が共に学び、共に育つ

—— 2013 共育研修会がスタート ——



十月十八日（金）、群馬県公社総合ビルを会場に、「二〇一三共育研修会・第一回」が開催され、経営者と社員合わせて三十九名が参加しました。

昨年同様、夜の時間帯での全六回シリーズにて企画。複数回の研修を通して実践課題の提起や報告を繰り返し、一定の成果を導き出します。研修の目的には「経営者と社員が共に学び、共に育ち合い、問題解決能力を高める」「リーダーの役割・責任・

段取りの重要性を学び、社内実践する」を掲げました。

開会挨拶と合わせ、吉池社員教育委員長が「共育研修会の意義と目的」をテーマに講義。「他社のメンバーと一緒に課題を発見・解決し、その過程でPDCAを習慣化してほしい。回を重ねるごとに自己成長を図り、終了後も各社でさらなる課題に挑戦し続けてもらいたい」と、参加者への期待を込めたメッセージを送りました。

その後、①「メンバーの現状を知る」、②「メンバーの課題を知る」をテーマにグループ討論を実施。社内での立場や業務などの自己紹介を皮切りに、予め提起されていた「自身の課題」に沿って意見交換をすすめていきました。いずれのグループも時間が足りないほど活発な討論が行われ、要所所で経営者側の的確なアドバイスも光りました。



プログラムの最後は「アクションプランの概要説明」と題して、マルシン産業(株)・提著社長が講義。「徹底的に現状分析を行うこと。今が分からないと立てた目標も曖昧になる」「自分だけ」でなく、自分たちで考えるのがリーダーの役割「段取りが何より大事。あとは実行に移すだけ」と、アクションプラン立案におけるポイントを解説しました。

第二回は十一月二十二日（金）に開催。次回までの宿題として「アクションプランシート」の作成と発表準備が提起されました。研修と実践を繰り返し行うことで、参加企業全体のレベルアップを図っていきます。

下請企業からの脱却!

桐生支部9月例会

九月二十五日(水)、桐生プリオパレスを会場に「桐生支部九月例会」を開催。オリジナル刺繍・プリント製品製造・販売などを行う㈱ユニマーク、代表取締役・尾花靖雄氏(桐生支部)が「下請企業からの脱却! ニッチ市場開拓と全国通販への挑戦」をテーマに、経営体験を報告しました。

「景気が一番キレイな言葉。どんな経営環境でも利益を出している会社は必ずある」との信条から報告をスタートさせた尾花氏。十数年前、取引先の



海外進出で売上の七割近くがなくなることを宣告された当時を、「まさに暗黒の時代。完全な債務超過で月々の返済だけで手一杯だった」と振り返りました。その後、新規事業模索のため個人事業としてオリジナル刺繍ショップを開始します。

資金を掛けずに全国へPRできる可能性に惹かれ、インターネットの自社サイトを独学で立ち上げたものの事業ベースには程遠い状況。しかし、顧客の声に触れるなかで、「ニッチ市場だが必ずニーズはある。零細企業もオンラインワンになれるチャンス」との確信を持つ

て、アクセス数アップの広告戦略や新規通販サイトのオープンなど、時代にマッチした事業展開を進めたと言います。また、ネット通販のメリットとしては、「大企業と同じ土俵で勝負ができ、地方の町工場でも流通革命が起これる」と、自身の経験に基づいて語りました。

まとめの言葉として、「開

業当初から協力してくれた取引先、支えてくれたお客様、ついてきてくれた社員。そして、笑顔で支えてくれた妻の存在に心から感謝したい」と述べ、人とのつながりを大切にしてきた尾花氏の人柄あふれる締め括りとなりました。

その後のグループ討論では、「待つについても仕事は来ない。攻めの経営への転換」「徹底した顧客ニーズの絞り込みが大

かけがえのないパズルのひとピース

洪川吾妻支部9月例会

九月二十五日(水)に開催された洪川吾妻支部例会は、洪なび代表の高橋緑氏(同支部)が報告しました。

「かけがえのないパズルのひとピース」と題して高橋氏は、これまでの歩みを時系列に紹介。地元洪川を元気にしたいと、地域ポータルサイト「洪なび」を立ち上げた経緯や、一大イベント「大人の夜の遊園地」の裏話など、様々な出会い、そして取り組みを通じて学んできたことなどを率直に語りました。

「何かをやるたびに問題が出てきますが、その問題に気づけたことがプラス。すべてはかけ

事」「経営者の先見性と決断力が会社の行く末を決める」など、尾花氏の報告を受けて率直な意見が交わされました。



がえのない経験です」と語る高橋氏の姿勢に、共感の声とともに応援のエールがたくさん贈られていました。

また「経営という観点から言え、もう少し収益性を考えたほうがよい」という率直なアドバイスもありました。



アルミ精密部品の切削加工メーカー 有限会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL: <http://www.apm-f.com> E-mail: fuse@apm-f.com

笑顔1番 看板2番

かんぱん各種
電光掲示板
ステッカー
デザイン
群馬テレビ代理店
とちぎテレビ代理店

地域密着型フリーペーパー
ふりペこ

**活気ある街並み創る
東和広告システム**

株式会社 CREATIVE INTEGRATION
LOWA 東和広告システム

＜本社＞ 桐生市境野町7-50-1 ☎0277-32-5503
＜宇都宮＞ 宇都宮市兵庫塚3-10-24 ☎028-678-6631
＜埼玉＞ 加須市騎西31-1 ☎0480-31-8412

企業革新と自己変革の決意

太田支部9月例会

九月二十七日(金)、蕪川行政センターを会場に「太田支部九月例会」を開催。太田青年部メンバーの榎アミイダ・阿久戸洋希氏、(南)大沼フレイム工業所・大沼庸介氏の二名が、「企業革新と自己変革の決意」青年経営者全国交流会in東京に参加して」と題し、青全交当日の興奮をそのままに、学んだこと、感じたこと、そして今後の決意を報告しました。

阿久戸氏は青全交の概要説明に続き、現地入り前に決めた参加目的を紹介。「全国の経営者は何を考えて経営に取り組んでいるのか?自分の考えや発言に對してどんな反応を示すのか?それを知るのも目的だった」と、



ブレない経営姿勢の確立に向け、強い意志を持って臨んだことを語りました。また、分科会で行われた「自社の存在価値は何か?」をテーマにしたグループ討論の様子を紹介するとともに、アミイダの存在価値(＝強み)についても考察。「専門性の高い加工」「社員参加型経営」「チャレンジ精神の風土」など、さらに磨き続けていく意気込みを語りました。

大沼氏は当日朝の笑い話で参加者の心を掴むところから報告をスタート。事業承継をテーマにした分科会では、「後継者の心構え」「社員教育のコツ」「地域との関わり方」などについて、特に感銘を受けた意見を紹介していききました。また、青全交での二日間から、「経営をするために必要な強い信念・使命感をヒシヒシと感じ、社長に成り立ての自分はまだまだ足りないことを実感した。思い立ったが吉日、会社の顔として貪欲に挑戦していきたい」と、この九月に新社長に就任したばかりの自身の境遇を鑑み、決意も新たに

出

発することを誓いました。

報告終了後のグループ討論では、「同年代での切磋琢磨が意識改革につながっていく」「経営理念を中心に据えた会社、社員の夢を叶える会社をつくりたい」「自社の存在価値を改めて見直す必要性を感じる」などな

利益の出る魅力ある会社をつくる

「私が社長を引き受けたわけ(同友会とともに育んだ会社の魅力とは?)」と題して、前橋支部所属の蔵前産業(株)、代表取締役・松下信一氏が自身の経営体験を報告しました。

松下氏は蔵前産業(株)に入社し



ど、各テーブルで白熱した意見が交わされていました。



前橋支部9月例会

たいきさつから、幹部社員を経て社長に就任した現在までの道のりを紹介。群馬同友会の代表理事を務めた橋本会長と共に学び、実践するなかで育んだ同社の魅力について、「取引先との信頼関係を築き、安心して仕事を任せられる会社であり続けていること」との認識を示しました。

報告後は「あなたの会社は魅力的ですか?」をテーマにグループ討論。「企業の魅力は周りに伝わって初めて魅力になる」「経営者の魅力が会社全体の魅力にもつながっている」「利益抜きに会社の魅力は語れない」など、活発な意見交換が行われました。

消防設備・電気設備のことなら

関東防災工業株式会社

■本社 〒371-0857 前橋市高井町1-29-7
TEL (027) 251-3535
■安中事務所 〒379-0126 群馬県安中市西上磯部1736
TEL (027) 385-5261
■東毛営業所 〒370-0801 群馬県太田市台之郷町732-30
TEL (0276) 46-0736

変テコ自転車の遊園地

群馬サイクルスポーツセンター

料金/サイクルパス(入場+乗り放題)

一般(小学生~64才) 1,200円
幼児(4才~未入学) 700円
シニア(65才以上) 700円



みなかみ町大峰山新巻 TEL0278-64-1811

今、スタートラインに着いた

高崎支部9月例会

九月二十六日(木)の高崎支部

部例会は、副代表理事をつとめるマルシン産業(株)の提箸康裕氏が経営体験を報告しました。

一九八五年に入社後、「仕事が出来た人間になりたい」と、がむしやりにやれることは何でもやったところ、結果として暴走。上層部が一斉に退職する事態に至りました。

そこから様々な改革に取り組み始めた提箸氏。失敗を繰り返しながらも事業を構築してきた経緯を具体的に語りました。

そして今日、「ようやく少しわかってきたこと」として、次

の五点をあげました。

①経営者は、ちゃんとやれば結果が出せる事業を考え、ダメになる前に結果を出せるように社員を導かねばならない。

②経営者は、実践と結果から理念とビジョンをパートナーである社員が理解できるようにしなければならぬ。

③実践とは個人の能力が活かされる行動であり、結果とはその行動に対する正当な評価である。そして、このサイクルは自立的に繰り返されるものでなくてはならない。

④そのためには、行動したいと感じる内発的なモチベーションのための何かと不満を感じる衛生要因を改善し続けなければならない。

⑤ゆえに経営者にとってのお客様は、社員である。

「私自身に出来るかどうかは別として、これらを不自然さなく満たしている会社がいい会社だと思う」と言いつつも、着実にそこへ近づいていることを感じさせる報告でした。

参加者からは「今の自分を



直すことが出来た。会社は人であることを再確認した」「経営者として沢山の苦悩を抱えつつも常に自己研鑽されていることが率直にすごい」「思っていたイメージと違い、自分をしっかりと持ち、さらけ出して経営していると感じた」などの感想が寄せられていました。

リーダーの聴くスキル

伊勢崎支部9月例会

した。

二人一組によるロールプレイングを通して「日常的な聴くが実は出来ていない」ことを体感後、「聞く・訊く・聴くの違い」「聴くうえで大切なポイント」などを紹介。それを踏まえたうえで、再度ロールプレイングを行い、「良い聴き方/悪い聴き方」について、参加者それぞれから感想や意見を引き出し、全体で共有していきました。

報告の最後には、「コミュニケーションの質は人生の質。社長のコミュニケーションの質は会社の質。あなたの会社は変わりそうですか?」と問題提起。グループ討論でも、コミュニケーションの重要性について、活発な意見が交わされました。



節電目標達成のために

エアコンの設定温度を2℃上げると、10%の節電が可能です。遮熱塗装(又は、白で塗る)で、室温28℃に設定できるようになります。天井からの炭火のような放射熱が減少し、断然快適になるからです。相談にのります。



高品質・高性能塗装 (有)クチキテック 代表取締役 朽木 康
〒378-0015 沼田市戸鹿野町324-3 TEL 0278 (22) 0691
E-mail: kuchikitec@yahoo.co.jp 携帯 090-4911-8900
U R L: http://www.kuchikitec.jp クチキテックで検索

<環境対策の PRO COMPANY>

目指すのは「屋久島の森の空気」です

「進化」皆様からのご要望により「工場などの環境改善機器」の取扱い始めました。



makes a difference

Deo+plus
デオ・プラス
www.deo-plus.net

株式会社デオ・プラス

〒370-0005 群馬県高崎市浜尻町 586-3
tel: 027-365-2236 fax: 027-315-3236
e-mail: ozone@deo-plus.net

ダメダメ社員がリーダーに育った理由!?

沼田支部9月例会

九月十八日(水)に開催された「沼田支部・社員・共育」例会「第二十一回」の今回は、高崎支部から(株)山岸製作所の高井豊氏を報告者に迎えました。

経営者と社員が共に学ぶ機会とあって、五十名を超える参加者が集まりました。

課長代理として、(株)山岸製作所を支える高井氏は、アルバイト時代の経験から「マニュアル化された仕事が嫌い、社長の顔が見えない企業は嫌だった。

入社当時は遊ぶために仕事をし、朝方まで飲んで、眠いなか出社することも多かった」と入社後のいきさつと当時の生活を振り返りました。

そんな中、趣味で大怪我をして入院。会社や家族に大きな迷惑を掛けたことが転機となり「五年先十年先を考えるようになり、会社の方針づくりに参加するようになった」と言います。



高井氏自身が気を付けていることも紹介しました。

グループ討論では、各グループから「テーマにあるほどだな社員だとは感じられなかった」と、高井氏が強い意志・信念を持っていたことに共感する声が多く挙がりました。

例会のまとめとして、毛利氏は「高井さんのように前向きに、ひたむきに自分の人生を見つめ、結果を出していつてもいい」と語りました。

参加者アンケートには「出来ないと言わない、という言葉にハッとした」「話を聞く事に重点を置き、社員と夢を共有できる会社を作っていきたい」「明日からは高井さんのように、すぐやるを実行していきたい」などの感想が綴られていました。



「中小企業においては、現場のリーダーの実行力が社員全体の実行力となる」と、今まで取り組んできた社内の改善ポイントを紹介。また、目標達成のために「一人で頑張っても一〇〇%ですが、周りの人の知恵をもらい、二人で二二〇%、五人で六〇〇%になるはず」として、「出来ないと言わない」「自分の限界を会社の限界にしない」など、

SUPER MILLION HAIR

スーパーミリオンヘア

《手軽に薄毛をカバーする商品です》

スーパーミリオンヘアは特殊加工された人工毛(約0.3~0.5mmに裁断された繊維)です。ふりかけると静電気により髪に付着し、気になる薄毛をカバーします。



スーパーミリオンヘア
[20g] ¥3,675 (税抜¥3,500)
[30g] ¥5,040 (税抜¥4,800)

スーパーミリオンヘアミスト
[165mL] (ノンガスタイプ)
¥1,575 (税抜¥1,500)

ルアン東京本社 銀座ビル

製造発売元

ルアン株式会社

■東京本社/東京営業所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-2 TEL.03-3573-3311 FAX.03-3573-3319
■群馬本社/群馬工場 〒371-0013 群馬県前橋市西片貝町1-300-5 TEL.027-260-7611 FAX.027-260-7615
■名古屋営業所 〒451-0035 愛知県名古屋市中区西区浅間2-1-2 TEL.052-528-3211 FAX.052-528-3244
■大阪営業所 〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造1-6-13 TEL.06-4304-1821 FAX.06-4304-1825
■http://www.ruan.co.jp ■E-MAIL:smh@ruan.co.jp

私たちはできること。
それはお客様と
未来の地球のために、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお勧めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail: eigo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



外はサクッと中はふんわり 「まんまるぐんまちゃん」



(有)ゼンフーズ

専務取締役 渡辺 慎一 氏(前橋支部所属)

Q & A

▼会社概要&自己紹介

サービスエリアなどのアメリカンドッグ製造会社として平成十二年九月に設立。その後、全自動餃子成型機を導入し、ラーメン店などで提供される餃子の製造を開始しました。現在は前述の製品のほか、シュウマイ・つくねなどを主力に食品製造を行っています。

私は平成十四年に入社。それ以来、工場内のことを考えてばかりで、あまり経営者という意識

は持ち合わせていませんでした。しかし、同友会に参加させてもらうなかで、先輩経営者の皆さんから様々な意見やアドバイスをいただき、そうした意識にも変化が生まれていると思います。実際にはまだまだ勉強中の身ではありますが…。

▼イチオシのPR

群馬の名物である温泉まんじゅうにアメリカンドッグの衣をつけて揚げ、県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」の焼き印を押した「まんまるぐんまちゃん」を開発しました。ゆるキャラブームで人気を博し、外はサクッと中はふんわりとした食感で、幅広い年代に愛される味です。お買い求めは、県内のサービスエリアや遊園地、道の駅などでぜひどうぞ！

▼こだわり

自社の方向性に頭を悩ませ、行き詰まっていた時期もありました。そうしたなか、PB商品の製造に特化した万協製菓という会社をテレビ番組で知りまし。確かに直販やネット販売は華やかで魅力的ではあります。が、「ゼンフーズは製造会社」という原点に立ち返り、万協製菓のような製造に特化した会社を目指すことを決意しました。これまでは依頼された商品を生産製造することが中心でしたが、お客様の要望に対して提案でき

▼今後の展望

まずは第二工場を安定させることが大事ですが、中期的にはお客様の要望に応えられる衛生管理と製造設備を整える必要性を感じています。そして何より大切なのが、工場の要となる人材の育成です。今後も製造に特化した会社づくりを進め、お客様に心から喜んでもらえる商品を作り出して行きたいと思っています。

る体制の構築、さらなる自社製品の開発にも取り組んでいきたいと考えています。

▼課題

営業社員がいる訳ではないので、自社PRが不足している感はありません。いかにゼンフーズのことを知ってもらうか、必要としているお客様と知り合えるかが大きな課題となります。

十一月より伊勢崎市で第二工場の稼働が決定。生産効率の上昇や生産製品の幅の広がりを見込んでいます。そうした情報も上手く活用し、自社PRにつなげようと思います。



所在地／前橋市石倉町1-9-8
連絡先／TEL027-210-7731

会員だんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【電子実験ソフト10万円以下で】 (株)ペリテック
各種試験・計測器開発の(株)ペリテック、代表取締役・平豊氏(高崎支部所属)はこのほど、製品開発時の電子実験における負担を大幅に軽減するソフト「エクセルリンクLite」を開発、販売を開始した。一般的な表計算ソフト「エクセル」を活用しているのが特色で、今年の春、上位システムとなる「エクセルリンク」を発売。業界内の評価は高いものの「稟議を通さず購入できるものを」との声が多く、機能を絞り込み10万円以下に抑えた新ソフトを投入した。大掛かりなPRはしていないが、企業の研究所や開発拠点からすでに50件以上の引き合いがあるなど「予想以上の反響」(平社長)。期間限定の無料貸し出しも行っており、次世代設計支援ツールとして注目を集めそうだ。 [10/3付ぐん経]

【群馬「がん特区」で中小スクラム】 蔵前産業(株)
群馬県が「がん治療技術地域活性化総合特区」に指定されたことを受け、県内の中堅・中小企業の経営者が共同で医療機器の開発会社を設立した。会社名は「クオンタム・メディカル・ドライバ・コーポレーション(QMD)」。蔵前産業(株)、取締役会長・橋本勝氏(前橋支部所属)ら、医療機器部品、金属加工、自動車部品など県内企業の経営者19人が出資した。出資金は950万円。武内康弘・群馬コングレスサポート理事長が社長に就任した。

QMDは群馬大学と共同で、医療用機器のニーズを掘り起こす。参加企業が技術を持ち寄り、群馬大の助言を受けながら、このニーズに合った医療機器や部品を開発する。その際、がん特区の支援を活用する。開発した製品は参加企業に製造を委託する。 [10/9付日経]

【新体制発表会開く】

(株)群馬プロバスケットボールコミッション
日本プロバスケットリーグ(bjリーグ)の群馬クレインサンダーズは2日、伊勢崎市内で「2013-2014シーズン新体制発表会」を開いた。冒頭、運営会社の(株)群馬プロバスケットボールコミッション、取締役社長・田邊康史氏(前橋支部所属)が挨拶し「皆さんから愛されるチームとなれるよう、選手、フロント一丸となっていきたい」と話した。また、最下位に終わった昨シーズンを振り返り「一年間いろいろな経験ができた。これを財産として、優勝を目指していくので、期待してください」と述べた。 [10/10付上毛]

【最優秀プランに選出】

増田煉瓦(株)
県は10日、新たな事業展開を目指す中小企業者や創業者を応援するビジネスプランコンテストで、最優秀プランに「地元食材を使ったこだわりの石窯パン・スイーツの開発と販売」をテーマにした増田煉瓦(株)、代表取締役・増田晋一氏(前橋支部所属)を選んだと発表した。

13件の応募があり、書類やプレゼンテーションを

審査し、新規性や独自性、実現可能性の高い5件を選んだ。受賞企業は賞品のパッケージデザインや情報発信などで県の支援を受けられる。

[10/11付上毛]

【昭和のこんにゃくロシアに売り込め】

(株)北毛久呂保
特産のこんにゃく加工品を売り込もうと、昭和村商工会は14日から18日にかけて、ロシアに使節団を派遣する。

使節団の構成は同商工会の林清市さん、こんにゃくを活用した食品加工に取り組む(株)北毛久呂保、代表取締役・兵藤武志氏(沼田支部所属)、高橋幸一郎さんの3人。14日に成田をたち、モスクワに向かう。

市内視察や関係先への訪問などをした後、17日に国立高等経済学院で現地マスコミや食品関係者へのプレゼンテーションに臨む。同日夜にモスクワを離れ、18日午前には帰国する。

ロシアでこんにゃくをそのまま食べるのは日系人にほぼ限られるが、低カロリーなこんにゃくハンバーグやこんにゃくラーメンなど加工食品は以前のPRでも好感触を得ている。 [10/14付上毛]

【自然、食 世界に発信】

(株)野菜くらぶ
「KAWABA国際自然文化サミット」が19日、川場村文化会館で開かれ、シンポジウムや基調講演を通じて村をはじめとする利根沼田地域の自然や日本の食文化を世界に発信する方策を探った。

シンポジウムは昭和村などで野菜を生産する(株)野菜くらぶ、代表取締役・澤浦彰治氏(沼田支部所属)、老舗料亭「京都吉兆」社長の徳岡邦夫さんらがパネリストを務め、国際的なブランド戦略などをテーマに意見交換した。

澤浦氏は有機栽培した自社のコンニャクを使った加工品が欧州市場で需要が高いことを説明した。

[10/20付上毛]

【地銀取引先が食品商談会】

小堀正展牧場
群馬銀行など地方銀行38行が主催する商談会「地方銀行フードセレクション」が21日、東京ビッグサイトで始まり、全国の食品関連業者640社が自社商品を紹介している。22日まで。

各行の取引先の販路拡大を支援しようと、2006年から毎年開催。群馬銀行関係では今回、小堀正展牧場、代表・小堀正展氏(前橋支部所属)、正田醤油、富士ハム、など24の取引先が出展している。

会場には初日から首都圏のバイヤーが続々と訪れ、各ブースとも試食や試飲を促しながら自慢の賞品をPRしていた。 [10/20付上毛]

【会社移転】

(株)レモン、代表取締役・長岡光雄氏(桐生支部所属)では、この度、下記のとおり会社を移転しました。

〒376-0035 桐生市仲町3-10-23

小島第1マンション206号

FAX: 0277-46-7960

第6回

理事会報告

日時 十月八日(火)

十八時三十分

員計二十二名

会場 同友会事務所

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事／山岸、澤浦、石田、田村、提箸、常任理事／丹羽、吉池、島山、布施、清塚、町田、戸塚、相沢、高橋、小林、理事／海老沼、生沼、内山、榎原、根岸、前田、監事／五十嵐、事務局／黒岩、阿久澤、竹内(役

【議事】

田村副代表理事が議長をつとめ、山岸代表理事挨拶のもと、開会となりました。

I. 報告連絡事項

1. 事業説明

冒頭、中小企業庁、県産業経

3. その他

①参加者より、青年経営者全国

済部ら五名をゲストに迎え、「第二回ものづくり小規模事業者等人材育成事業補助金」ならびに「スキルアップセミナー」の概要説明をそれぞれ聞き、質疑応答が行われました。

2. 支部・部会・委員会報告

各組織代表者より、報告や案内連絡等がありました。

この中で、青年部への登録依頼が島山青年部会長よりなされました。

II. 承認事項

た。

1. 入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の入会者三名を承認(退会なし)。会員数は四六四名となりました。

III. 審議事項(または意見交換)

1. 四十周年記念フォーラム成功へ向けて

十一月十九日開催の「四十周年記念フォーラム」の詳細、ならびに各支部の取り組み状況が確認され、参加登録を早めにすることを申し合わせまし

2. 意見交換

丹羽経営研究部会長からの問題提起を受け、「経営指針づくりを広めるために」をテーマに意見交換が行われました。

IV. その他

1. 次回理事会の開催日程確認

第七回理事会を左記の通り開催することが確認されました。

日時：十一月十二日(火)
十八時三十分より

会場：同友会事務所・会議室

新会員ご紹介

10月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

前橋支部

小堀正展牧場



代表
小堀正展
S55年生

〒371-0245 前橋市市之関町352
TEL: 090-6546-6369
FAX: 027-283-7477
ホルスタインの牛肉生産 読書

【紹介者／澤浦彰治】

低カロリー・高たんぱく・低脂肪な牛肉を、おいしい水と赤城山の大自然のなかで生産しています。「日本には和牛以外にも美味しい国産牛があることを知ってほしい」「もっと安価で手頃な値段で牛肉を食べてほしい」という思いで頑張っています。同友会の皆様、どうぞよろしく願います。

太田支部

権田会計事務所



税理士・公認会計士
権田俊枝

〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階
TEL: 0276-49-5575
FAX: 0276-49-5576
経営計画策定・運用支援、事業承継、税務会計業務 旅行、美術館めぐり

【紹介者／高谷 豊(茨城同友会・代表理事)】

同友会での学びを実践し、自社の経営に活かすことで、経営者の皆様にとって真にお役に立てる会計事務所を目指します。「自分も成功することでお客さまを支える」をモットーに頑張りたいと思います。どうぞよろしく願っています。

沼田支部

(有)利根無線商事



樋之口 武志
S45年生

〒378-0044 沼田市下之町1018
TEL: 0278-22-2284
FAX: 0278-22-2589
家電品販売・家電品修理、電気設備工事 歴史

【紹介者／高橋秀隆】

「街のでんきやさん」として、家電販売、電気工事、家電及び機械修理を行っております。弊社をご利用いただくことで、お客様の生活がより豊かに、より便利になることを常に心がけています。同友会において、様々なことを学んでいきたいと思っています。どうぞよろしく願っています。

部 品 加 工 の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が came ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 22名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562